

# 木材が環境に優しい理由



木材パレットは、古い伝統を持つパレット形式で、プラスチックパレットと違い、一部破損しても修理が容易で、梱包物が滑りにくい特徴があります。古くなった木製パレットは、チップ状に加工することで、ダンボール原紙などに再利用可能です。まだ使える木製パレットは、印字部分を削り取り補修を施すことで中古木製パレットとして再利用出来るので、無駄がありません。

その木材パレットの原料となる木材は植物です。植物には半永久的に利用可能な太陽からの光エネルギーを利用して、大気中のCO<sub>2</sub>を有機物として固定する働きがあり、樹木は木材という形で大量の炭素を蓄えています。この炭素は燃やさない限り閉じ込め続ける事が出来ます。2019年の森林によるCO<sub>2</sub>吸収実績は約4290万t-co<sub>2</sub>※1（木材製品としては約380万t-co<sub>2</sub>）とCO<sub>2</sub>の閉じ込めに大きく貢献しています。更に、木材は鉄等の他資材に比べて製造時のエネルギーが少ない省エネ素材です。例としては、木造住宅の場合、非木造（鉄筋コンクリート・鉄骨構造等）に比べて建築段階の床面積当りのCO<sub>2</sub>排出量が約3/5で済みます。間伐材・製材残材・建築廃材等は、木質バイオマスとして、エネルギー利用（発電・熱利用）により化石燃料の代替燃料となっています。木質バイオマスエネルギーによる化石燃料代替効果約は、2019年では、約400万t-co<sub>2</sub>を達成しています。



図1※2にある通り、木材はカーボンニュートラルを達成する上で必要不可欠な存在です。植林し適切に管理することでCO<sub>2</sub>は自然に循環していきます。こうして環境を破壊する事無く持続的に資源を得る事が出来るのです。プラスチック等の他資源では、リサイクルで廃棄物を減らせても、CO<sub>2</sub>の循環や石油・鉄鉱石等の再生産は出来ません。地球の資源埋蔵量自体に限界がある以上、限りある資源を有効に活用する為にも、植林による再生産可能な木材資源で代用出来る分野では、積極的に木材資源に切り替えるべきです。これから生まれて来る子供達の世代まで資源を残していけるかは、私達の選択次第なのです。

※1 温室効果ガスインベントリでは、二酸化炭素は重さ（トン）で表すので（t-co<sub>2</sub>）と表記

※2 林野庁における脱炭素に向けた取り組みについてより

